

事業所名		児童デイサービス・アニマート柏屋はるまち				公表日	2025年 9月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	活動内容を工夫しながら活動スペースを確保しています。		安全面に配慮しながら、活動スペースの確保をして参ります。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		法令で必要とされる人数配置基準を満たしております。			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1			賃貸ですが、自分達で整えられる事がどこまであるのか情報収集を行う必要がある。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日の清掃、消毒作業を行っています。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別の部屋でクールダウンできるように設けてあります。			
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		全員で共通理解と見直しをしています。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				調査結果を元に職員間で話し合い、可能な限り保護者様の意見やご要望に沿っていきたいと思います。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		その都度話し合いや情報共有をしています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3			他事業所等との繋がりを増やし第三者の意見を聞く機会を設けていきたいと思います。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		内外に定期的な研修を開催・参加しております。			
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5					
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		送迎時や電話などで様子や気になる事を聞き取り情報共有しています。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援計画会議を行い、支援の情報共有や支援内容の検討を行っています。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画書の周知を行っています。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		個々の特性に応じたアセスメントツールを使用しています。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		保護者様と約半年に一度面談を行い、保護者様やご利用者様の意見をお聞きしながら計画書を作成してます。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動内容を職員で話し合い決めています。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		マンネリにならないように毎月新しい活動を取り入れてます。			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動は時間を設定して全員参加を促しています。			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝の朝礼で申し送りを行っております。			

	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		出来ない時は次の日の午前中で行っています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録を正しく取り、児童の状況を職員全員が把握して、日々の支援につなげています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		保護者様と約半年に一度面談時に、達成度合いや意見をお聞きしながら計画書を作成しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		日々、4つの基本活動を意識した支援や活動を行っています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			職員も選択肢を増やすように研修や会議を用いて支援の質を高めています。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者と児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校送迎時に、先生と申し送りをしています	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			必要に応じて相談支援事業所と連携し、情報共有して参ります。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		該当する児童がいなかつた為、今は情報提供していないが移行する場合は積極的にお伝えして参ります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	2	公園へ行った際に関わる時もあります。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	開催の際は参加しています。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時にその日の活動内容を保護者様に報告しております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		積極的に行って回数を増やしていきたいと思います。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		ご契約時に説明をしています。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者様と約半年に一度面談を行い、保護者様やご利用者様の意見をお聞きしながら作成しています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談時に説明をしています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		ご相談があれば対応させていただいている	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会を実施して交流を図っています。	より多くのご家族様にご参加していただけるように努めて参ります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			管理者を窓口として、迅速かつ適切な対応に努めて参ります。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月アーニマート通信を発行し、デイでの様子をお伝えしております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に個人情報について同意書を頂いています。また、法令遵守の研修を行っています。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		児童の特性に合わせた対応を心がけています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	感染症対策や責任問題（怪我等）を考慮して地域住民の招待は行っていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	各種マニュアルを作成し提示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCP策定をしており、地震・水害・火災想定で避難訓練を実施しています。	避難訓練時には紙芝居や動画を見せて、避難時の注意点を分かりやすく児童に伝える工夫をして参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	保護者様と情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	医師の指示書がある児童はいませんが、食物アレルギーがある児童は事前に情報共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		マニュアルを作成し、安全対策を行っております。	職員研修をし理解を深める参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		ご家族様へ周知して参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが起きた時は報告書を作成し対策などを職員全員で情報共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修の参加や事業所内研修をし職員全員で考えています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	身体拘束に関する指針があります。	